

ふらの

# 市議会だより

平成22年

第47号

2010.8

■発行：富良野市議会 ■編集：議会広報特別委員会 [富良野市弥生町1-1 TEL 39-2322]



平成22年

第2回

## 定例会

6月16日～6月25日  
(10日間)

主な内容

- ・議決結果…………… P 2
- ・一般質問…………… P 3～5  
    6名の議員が市政全般について質問
- ・委員会報告…………… P 6～8  
    総務文教委員会報告  
    経済建設委員会報告  
    保健福祉委員会報告  
    議会改革特別委員会報告
- ・議会報告会…………… P 8
- ・臨時会・全国議長会表彰・事務調査等…………… P 9
- ・議会日誌・編集後記等…………… P 10

## 平成22年 第2回 富良野市議会定例会議決結果表

| 議案番号        | 事件名                                      | 議決月日  | 議決結果 |
|-------------|--|-------|------|
| 議案第1号       | 平成22年度富良野市一般会計補正予算(第3号)                  | 6月25日 | 原案可決 |
| 議案第2号       | 平成22年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)            | 6月25日 | 原案可決 |
| 議案第3号       | 富良野市財政調整基金の処分について                        | 6月25日 | 原案可決 |
| 議案第4号       | 富良野市工場等誘致特別措置条例の全部改正について                 | 6月25日 | 原案可決 |
| 議案第5号       | 富良野市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について           | 6月25日 | 原案可決 |
| 議案第6号       | 富良野市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について              | 6月25日 | 原案可決 |
| 議案第7号       | 富良野市国民健康保険税条例の一部改正について                   | 6月25日 | 原案可決 |
| 議案第8号       | 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について                 | 6月25日 | 原案可決 |
| 議案第9号       | 北海道市町村備荒資金組合規約の変更について                    | 6月25日 | 原案可決 |
| 議案第10号      | 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について                  | 6月25日 | 原案可決 |
| 議案第11号      | 富良野市教育委員会委員の任命について                       | 6月16日 | 任命同意 |
| 議案第12号      | 富良野市教育委員会委員の任命について                       | 6月16日 | 任命同意 |
| 質問第1号       | 人権擁護委員候補者の推薦について                         | 6月16日 | 適任   |
| 質問第2号       | 人権擁護委員候補者の推薦について                         | 6月16日 | 適任   |
| 報告第1号       | 繰越明許費繰越計算書について                           | 6月16日 | 報告済  |
| 報告第2号       | 事故繰越繰越計算書について                            | 6月16日 | 報告済  |
| 報告第3号       | 専決処分報告(平成22年度富良野市一般会計補正予算)               | 6月16日 | 原案承認 |
| 意見案第1号      | 子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書                | 6月25日 | 原案可決 |
| 意見案第2号      | 地方財政の充実・強化を求める意見書                        | 6月25日 | 原案可決 |
| 意見案第3号      | 義務教育費国庫負担制度の堅持と拡充を求める意見書                 | 6月25日 | 原案可決 |
| その他会議に付した事件 | 所管事項に関する委員会報告                            |       |      |
|             | ・事務調査報告(総務文教)                            | 6月16日 | 継続調査 |
|             | ・事務調査報告(保健福祉)                            | 6月16日 | 調査済  |
|             | ・事務調査報告(経済建設)                            | 6月16日 | 継続調査 |
|             | 議会改革特別委員会報告                              | 6月16日 | 継続調査 |
|             | 監査委員報告                                   |       |      |
|             | ・例月出納検査結果報告<br>(平成21年度1月分~4月分、平成22年度4月分) | 6月16日 | 報告済5 |
|             | 閉会中の所管事務調査について(保健福祉)                     | 6月25日 | 許可1  |
|             | 閉会中の都市事例調査について(総務文教)                     | 6月25日 | 許可1  |

# 一般質問

横山久仁雄

(市民連合)

所信表明に対して

問 これまで市長は「農村観光都市形成」を唱えまちづくりを進め、西達布・東山地区の再生計画の要としてオーガニックアカデミーを誘致。都市と農村の交流・景観資源を生かした観光・経済の活性化・新規就農に期待してきた。いまだ成果はない。

答 本市固有の自然環境に支えられた農業・観光・環境の連携・融合により都市と農村の交流を活発化し、新たな企業立地や雇用の場の確保による地域活性化を図る基本姿勢を示すもの。

問 富良野・美瑛地域基本計画策定の現状と内容は。

答 平成21年12月31日で農工法の適用期限が切れ、これに代わる企業立地促進法の支援措置を受けるため、沿線5市町村と美瑛、北海道による「富良野・美瑛地域産業活性化協議会」を設

置。本計画を策定し、国の同意を得た。企業立地の集積業種は食料品製造業を中心とした「地域資源関連」「機械・金属関連」「産業支援関連」「観光関連」の4業種。富良野・美瑛地域の成果目標は新規立地6件、新規雇用143人を目指している。



3年が経過したオーガニックアカデミー

大栗民江

(公明党)

高齢者の安心を守る環境づくり

問 緊急時医療情報カードの設置推進の取り組みは。

答 一人暮らしの高齢者、約800世帯に設置をスタート。

問 認知症サポートー1100万人キヤラバンの現状と対応は。

答 メイト(講師)7名、サポートー61名。体制整備をしている。サポーター養成に取り組む。

印刷物ユニバーサルデザイン化

問 活字文章読上げ装置がなくとも音声コードを音声化できる携帯電話が出る予定。視覚障がい者、外国人等の利用も見込まれ、全額国庫負担の音声コード研修が実施されているが、活用についての見解は。

答 優先度があまり高くないと判断しているが、他市の取り組みを見ながら検討していく。

デイジ一教科書の活用は

問 読み書き困難な児童は、国

内全児童の約4~5%に存在すると言われる。これは、クラスに1人から数人になる。文科省検定教科書がデジタル化に対応した教科書)として、読み書き困難な児童生徒にも配布対象が拡大された。また、指導教員や在学年より下の学年のデイジ一教科書が必要となる場合にも可能となる。デイジ一教科書の活用や考え方、家庭との連携は。



読みが困難な子のための教科書

答 デイジ一教科書を活用している児童生徒が1名いる。活用方法の検討や保護者との教育相談等を通じて教育環境の充実に努めていく。

# 一般質問

岡野孝則  
(民主クラブ)

(民主クラブ)

介護保険施設・今後の対策は

問 介護保険施設整備状況と第4期整備目標と待機者数は。

答 現在まで、認知症介護施設、通所介護、訪問介護、訪問看護等3施設。小規模多機能居宅介護、老健施設等1施設。

今後の目標は、地域定着型と

して小規模多機能居宅施設が1ヶ所。認知症型介護施設が2ヶ所、特養老人ホームを30床増設し130床の計画。各施設待機者数は、寿光園、ふれあいふらのは待機者無し。北の峰ハイツ



約20名。老健が約85名。今後、介護認定者数も増加を予想し、介護基盤整備を拡充する。

問 介護、認知症の予防対策として家庭で出来る小冊子配布は。

答 今後も様々な取り組みを実施し、予防冊子は配布したい。

天日公子  
(民主クラブ)

地域医療の現状と課題

問 地域センター病院改築に伴う基本構想の確認書から現状と課題、進捗状況は。

答 現在診療科目は13科から15科に。医師数29・5人。開放型病床の利用は、平成21年度4医療機関患者11名427日間入院中21回の共同指導。

訪問診療は、泌尿科や総合内科の医師の動向により実施に向け検討すると聞いている。

地域センター病院運営委員会は、年1回開催している。病院の運営状況、診療体制の状況、救急体制、病診連携の状況報告と医師確保や救急体制の課題について協議実施。医療ニーズについて医療ニーズの把握は院内にして医療ニーズの把握は院内に沿った病院運営の改革・推進として医療ニーズの把握は院内に「投書箱」を設置。内容、対応を掲示板にて周知。

問 産婦人科の複数の常勤医体制について。

答 安全に出産できる体制の整備のために複数の医師の確保は重要。複数設置を要請していく。

国際交流の考えは

問 國際友好都市の追加は。

答 特定都市に限らず幅広く国際交流を推進する。現段階では友好都市協定は考えていない。

問 國際交流基金をより利用しやすい方向は考えられないか。

答 基金の目的を変更するような状況を考えてみたい。



富良野協会病院

例研修、全職員を対象にした接遇の研修を年2・3回取り組みながら、病院運営の改革推進に努力をしていると伺っている。

問 自己評価、学校外部評価を経て、第3者による学校評議員制度導入が必要と思うが。

答 必要。本年度より実施予定。

学校評議員制度導入は

問 自己評価、学校外部評価を

経て、第3者による学校評議員制度導入が必要と思うが。

答 必要。本年度より実施予定。

# 一般質問

千葉健一

(民主クラブ)

## 農村観光環境都市形成の概念

問 市長は、富良野が目指すまちの姿は、農村観光都市であると4年間言い続けその具体化を模索してきたと思うが、市長の就任前から富良野は農業と観光の融合が発展の鍵であることは多くの市民も認識し、その相乗効果により全国に通用するふらのブランドが築かれてきた。

所信で述べているそこに環境を加え、どのようなことを具体化しようとするのか。



賑わう「フラン・マルシェ」

望の持てる農業の確立、後継者の育成、花嫁対策、併せて後継者のいない農業者の第3者継承について調査研究し、持続可能な農業、農村づくりを目指すとあるが第3者継承の考え方は。

答 委譲希望者と継承希望者の適性を見極めた上、北大農学部の指導を受け関係機関、団体と研究会を開催し、双方の意向把握に努め、課題を整理しながら、富良野方式の第3者継承の取り組みを進めていく。

## 公的住宅の役割は

問 公的住宅の役割としての、「住宅に困窮する」との概念は。

答 現状では、公営住宅以外で収入に見合った家賃の住宅の確保が難しい状態であること。

## 民間賃貸住宅の実態把握は

問 民間賃貸住宅の実態把握は。

答 本市における民間賃貸住宅のストック戸数・空き家戸数等詳細については未調査のため、公営住宅建て替えの基礎資料として詳細な実態把握を行う必要があると考える。

## 公営住宅と福祉的住宅の役割分担認識は

問 福祉的住宅の役割認識は。

答 厳しい経済情勢と少子高齢化が進行する中で、公的住宅・民間住宅の区別なく福祉的に配慮をした住宅整備が望まれる。

本市では低額所得者の住まいの確保として、公営住宅の供給

を基本しながらも、建て替えて時にバリアフリー化など安全に配慮した整備を行い、1階部分を高齢者・身障者世帯に対しても優先入居の取り扱いを行つている。

広瀬寛人

(無所属)

## 農村観光環境都市形成の概念

問 農業政策は政権が変わつても不安定である。市長は夢と希

## 農業の第3者継承とは

豊かに暮らすまちづくりを目指す基本的な姿勢を表したもの。

- ◇ その他の質問
- ◇ 新たな産業の創出とその組織づくりについて
- ◇ 高卒者の地元企業の就職は進捗状況について
- ◇ 中心市街地活性化基本計画の



市営朝日町団地

## ライフサイクルに応じた支援制度は

問 各種支援制度の周知や家賃

答 高齢者用賃貸住宅の建設、若者・新婚カップルのまちなか居住のための家賃制度などをコンパクトなまちづくりの施策として、各自治体の取り組みを参考に検討したい。

## 委員会の動き

### 総務文教委員会

本委員会では、第1回定例会で「スポーツ振興について」事務調査の許可を得て現在調査を進めています。

スポーツには様々な要素があり、楽しむ・競技・人々との交流・健康維持など年代や目的によつて多種多様なものがあります。

富良野市では、スポーツ振興の基本は、平成13年からの「富良野市総合計画」に基づいて教育委員会が所管し、社会教育・社会体育の一環として市民の豊かなスポーツライフを目指し、主



少年団交流大会

な施策として環境整備のほか児期から高年期と世代別に現状と課題推進目標、項目を明らかにし、市民の皆さんに触れあいと連携し、生涯スポーツの視点で現在推進しています。

また一方でスポーツには、オリンピック、ワールドカップなどのように世界中が注目し、多くの人々が夢・希望・感動を共有できる魅力もあります。

今まで、富良野においても冬季オリンピックを始め、各種大会で優秀な成績を収めた幾多の選手を派出していますが、現在の子ども達も各種大会出場を目指し、日々努力を重ねています。選手達のそのような姿は、世代を超える人々をひき付け社会に大きく影響を与えています。

私たちは、改めて「スポーツ力」を認識し、スポーツ選手の強化育成の新たな視点を加えた「スポーツ振興について」調査

検討を行い、課題として指導者の確保や資金の問題など多くの難題がありますが、新たなスポーツ振興の政策提案を目指して検討を重ねていきます。

### ■「ふらのらしい住環境整備について」調査

### 経済建設委員会

本委員会では「ふらのらしい住環境整備」について調査を進めてきました。ふらのらしさとは何か。まず、自然環境が豊かく人々が夢・希望・感動を共有できる魅力もあります。

また、ごみの分別やりサイクルなど環境に優しいまちとしても評価が高く、市民の環境に対する意識が高い事もふらのらしさと言えます。一方、北国という厳しい気候風土の中で住宅の防寒対策や暖房にコストがかかるなどのハンディがあり、こうした地域特性に応じた住まいづくりに取り組む事が重要です。

■ふらのらしい景観形成

住環境を考える時に、外観、外構などのエクステリアは景観の統一性の視点からも公共性が高く、地区計画を立てるうえでの基準も必要です。また、本市の観光資源である田園景観を維持するためにも農村部の住環境整備も重要です。本委員会では、



木質ペレット

■自然エネルギーの活用

二酸化炭素の削減など環境に配慮した太陽光や地中熱、空気熱を利用した再生可能な自然エネルギーを住宅の電気や暖房に活用することはきわめて有望で

すが、初期投資にかかる負担が大きいことが普及への障害となっています。太陽光発電では、1 kWhあたり7万円の国の補助制度はありますが、本市はこのようないくつかの自然エネルギーに対する補助制度はなく、環境都市として独自の取り組みが必要です。

■ふらのらしい景観形成

住環境を考える時に、外観、外構などのエクステリアは景観の統一性の視点からも公共性が高く、地区計画を立てるうえでの基準も必要です。また、本市の観光資源である田園景観を維持するためにも農村部の住環境整備も重要です。本委員会では、

## 保健福祉委員会

### 委員会の動き

#### ■特定健診と特定保健指導

委員会では、担当部局より資料の提出や説明を求めたほか、実務を担当する保健師から実態を聴取し、市民の健康維持を図るため、特定健診の意義や現状、特定保健指導の実態把握に努めながら調査を進めてきた。

将来の医療費の伸びを抑え、国民皆保健制度を持続可能なものにするため、予防可能な生活習慣病有病者、その予備軍を平成20年度と比較し27年度に25%削減する目標を設定し対策が進められる。「高齢者の医療の確保に関する法律」により、各医療保健者に対し実施が義務付けされ、受診率と実施率の目標値が定められ、その達成を求められてきた。達成率により国民健康保険から後期高齢者医療制度への支援金の増減があり、その差は最大10%に達することから、仮に目標値を下回った場合は、国民健康保険税への影響も予測される。



特定保健指導

委員会ではこれらの説明を受け議論を重ねた。論点は導入の目的、実施率の向上対策、執行体制の充実の3点に集約した。

目的では、国は増加する医療費の対策により国民皆保健制度維持としているが、行政の本質として考える場合、住民の健康を主目的とすべきであり、医療保健の財務改善は理解するものの、優先すべき目的が異なる。

実施率向上対策は、年々目標率が高くなる中で継続受診者が少ない状態の改善、新たな受診者確保の方策について、現状年2回、市内4ヶ所で実施されている集団健診の充実、対象者の意識改革を図り、受診を促す啓蒙活動の充実・住民の健康を重

視し、対象者へ受診を喚起する方策に一層努力が必要である。

実施率が高まるにつれて、それぞれの対象者が増加することになるため、これらの増加に対するべき人材確保が重要である。

業務に関わる専門職については、現状において精勤努力されてい

ることが調査の中で十分伺えた。今後において積極的にこれらに

関わる人材を確保することにより、執行体制の充実を図ることが必要である。今後の実施に当たっては、市民の健康増進及び

確保のため、関係機関との連携を強化することにより、さらに推進を図られたい。

#### ■富良野看護専門学校条例の一部改正案を可決

看護専門学校が平成6年に開校して以来始めての改正であり、その趣旨は、当校の運営を維持するため必要な財源として、授業料を年額18万円から24万円に改正するものである。

富良野地域の看護師不足の解消を目的に開設されたが、他の自治体運営の学校と比べて、病院に併設されていないことや圈

域内に大学がないことから、臨床実習や一部科目の履修を外部講師に依頼を行わなければならぬことが、運営上の課題となっている。さらに、平成20年度の改正に伴い、幼稚園などの実習も加わるなど履修単位の増加により、学校運営経費の増大も見込まれる。これまでも経費節減に努力をしており、これ以上

の削減を行つた場合学習環境にも影響する。

こうした背景など、説明に基づく意見交換では、他校との比較で、授業料そのものは高くはないものの、実習費などとの合算では低い水準ではない事。学生の学習環境を最優先する事。医療従事者不足における看護専門学校の重要性などについて意見が挙げられた。特に、今後の受益者負担について、設置目的を踏まえつつ、より明確な基準が必要である。また、地域の看護師不足解消に向け、積極的に取り組む必要があり協議の結果、学校運営継続のための改正であり全会一致をもつて、原案可決すべきものと決定した。

## 議会改革特別委員会

### ■議員定数について集中議論

本委員会は、来春改選を迎える議会の議員定数について6回の委員会を開催し議論を重ねてきました。

最初に地方議会の役割である住民の代表機能、執行機関に対する監視機能、地方分権の進展や地域主権時代に対応できる議会など、これから議会の基本的なあり方について議論を進め、議会情報の発信力の強化、住民対話の機会とする議会報告会、議員間の自由討議、議会による政策提案など、議会機能の強化が一層重要であるとの認識で意見の一一致を見ました。

### ■議員定数は現行維持とし 議会改革を優先

本市議会は平成11年に2名の削減を実施して以来、15年、19年と改選のたびに2名の削減を行つてきました。また、市の財政健全化計画に呼応して、議員報酬の10%相当額を自主削減し

ています。自治体財政の悪化に伴い、定数削減は大きな流れとなつており、本市議会も削減を行なうべきとの意見もありました。

しかし、定数問題はあるべき

富良野市議会の将来像を定める作業の中で論じられるべきで、議会の果たす役割を十分に議論し、時代の流れや経費の削減だけにとらわれず大局的に判断すべきという意見や住民の代表機能、審議機能、分権への対応など、議会の機能強化を目指す議会改革の観点からも現行の18名は維持すべきとの意見が大勢を占め、議会改革を一層進める事を優先すべきであるとの結論に至りました。

議会機能強化の取り組みは議員の資質向上を促すものであり、議会を取り巻く厳しい現実を直視し、なお一層の努力を重ねていきます。



## 平成22年度 議会報告会を開催します

議会が住民に信頼され、民主的なまちづくりを実現するためには、市民の皆さんとの連携が大変重要です。このことから、富良野市議会では議会がより身近なものになるよう、議会改革の取り組みとして、議会活動の状況、委員会報告などを地域に出向いて報告いたします。この活動を重ねながら、議会機能を高めることを目的に開催しています。

日程については7月初めにチラシを全戸配布しましたが、今後開催予定の会場をあらためて掲載いたしますので、皆さん多数ご参加いただければ幸いです。

| 日 程           | 会場名           | 参集範囲                 |
|---------------|---------------|----------------------|
| 8/ 2(月) 18:30 | 西地区コミュニティセンター | 新富町・西町・北斗町・学田連合会・桂木町 |
| 8/20(金) 19:00 | 麓郷集落センター      | 麓郷・布礼別・富丘・八幡丘地区      |
| 8/21(土) 18:30 | 布部会館          | 布部・中五区・上五区・下五区・扇山地区  |
| 8/26(木) 18:30 | 山部福祉センター      | 山部地区                 |

※ 参集範囲は会場ごとに定めていますが、日程など都合のよい会場にご参加ください。

※ 開催時間は、1会場1時間半程度を予定しています。

## ■市長改選後初の臨時会を開催

4月18日に行われた富良野市長選挙で能登市長が再選され、改選後初めての富良野市議会臨時会が5月17日に開催されました。

市長側提出案件は10件（内訳・予算1、条例1、人事3、報告5）議会側案件が1件あり、それぞれ審議可決されました。

特に人事案件として、副市長の選任では石井隆氏、教育委員の任命では宇佐見正光氏が再選され、能登市政の2期目が実質スタートしました。そのほかには、富良野市固定資産評価員に高田雅浩税務課長が選任されたほか、平成22年度一般会計補正予算是、

緊急雇用創出事業として1485万8千円が追加されました。

また、非常勤特別職の報酬・費用弁償に関する条例の一部改正、平成21年度各会計予算など5件の専決処分報告がありました。

議会側案件では、富良野市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、委員には、

藤田稔氏（再）・堀川眞理氏（再）・高畠公子氏（新）・桐澤博氏（新）、補充員には、藤本利昭氏（再）・河合良美氏（新）・住原哲氏（再）・堀田修司氏（再）がそれぞれ選任されました。全議案慎重審議の上、可決され終了いたしました。

## 永年勤続表彰

本年5月26日に東京で開催された全国市議会議長定期総会において、本市議会横山久仁雄議員・岡本俊議員・東海林剛議員・日里雅至議員・北猛俊議員の5名が、議員15年以上の勤続表彰を受け、本会議初日の6月9日にそれぞれ伝達されました。

●各常任委員会では、議長の許可を受け、閉会中次の事務調査・都市事例調査を行います。

| ■都市事例調査         |                                 | ■事務調査   |                    |
|-----------------|---------------------------------|---------|--------------------|
| 委員会名            | 調査件名                            | 委員会名    | 調査件名               |
| 総務文教委員会         | スポーツ振興について<br>教育委員会の職務権限の特例について | 保健福祉委員会 | 調査第3号<br>高齢者福祉について |
| 指定管理者制度事業評価について | 埼玉県草加市<br>埼玉県八潮市                | 調査地     | 長野県長野市             |



全国議長会表彰を受けた方々

## 議会日誌

4月

27日・議会改革特別委員会

5月

13日・代表者会議

・総務文教委員会

17日・第2回臨時会

18日・経渃建設委員会

・議会改革特別委員会

20日・富良野沿線市町村議会議長会総会

21日・総務文教委員会

25日・全国市議会議長会理事会

26日・全国市議会議長会定期総会

28日・総務文教委員会

6月

2日・保健福祉委員会

・広域連合議会臨時会

4日・議会改革特別委員会

8日・経渃建設委員会

10日・議員協議会

11日・議会運営委員会

15日・議会改革特別委員会

16日・第2回定例会（1日目）

・議会広報特別委員会

21日・第2回定例会（2日目）

・保健福祉委員会

22日・第2回定例会（3日目）

・議会運営委員会

・代表者会議

23日・議会改革特別委員会

24日・総務文教委員会

25日・第2回定例会（4日目）

・議員会総会

・議員会交流会及び行政懇談会

29日～7月1日

・総務文教委員会都市事例調査

7月

2日・議会報告会役員会

6日・議会改革特別委員会

9日・議会広報特別委員会

・議会報告会役員会

15日・総務文教委員会

16日・議会広報特別委員会

・議会報告会（末広コミュニティセンター・東山公民館）

20日・保健福祉委員会

21日・経渃建設委員会

・議会報告会（東春コミュニティセンター）

22日・議会広報特別委員会

26日・議会報告会（麻町児童センター）

31日・議会報告会（北の峰コミュニティセンター）

## 傍聴してみませんか

平成22年第3回市議会定例会の開会予定日をお知らせします。

【日程】

9月7日(火) 開会日

9月13日(月) 一般質問

9月14日(火) 一般質問

9月15日(水) 予備日

9月17日(金) 最終日

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は、日程を確認してください。



多くの方の傍聴をお待ちしています。

問い合わせ／議会事務局

☎ 39-2322

## 可決された意見書

◆ 第2回定例会に議員提案された意見書は次の3件です。いずれも可決後、直ちに関係機関に送付しました。

- 子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書

（佐々木 優議員外6名）

- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度の堅持と拡充を求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書

（岡本 利一議員外5名）  
（今俊議員外5名）

## 編集後記



4月28日に同時オープンして、フラン・マルシェは1カ月半で集客が10万人を超えており、年間30万人の観光客を予想していましたが、

倍以上の集客を達成され、食のクライスターの連携がなされたものと思われます。

▼ 6月から暑い日が続く中、富良野も30度を超える夏日を迎えています。

▼ 春の冷湿で農作物の生育の遅れが心配でしたが、長期予報では7月いっぱい暑さが続く見通しで安心ですが、大雨にも注意が必要です。

▼ 大気の状態が不安定」という言葉を聞いたときは、晴れていても、突然、局地的なスコールのような大雨、雷発生が高まり、注意が必要です。また、熱中症、食中毒にもご用心ください。

▼ フラノ・マルシェ、六花亭が

議会広報特別委員会  
委員 覚幸伸夫